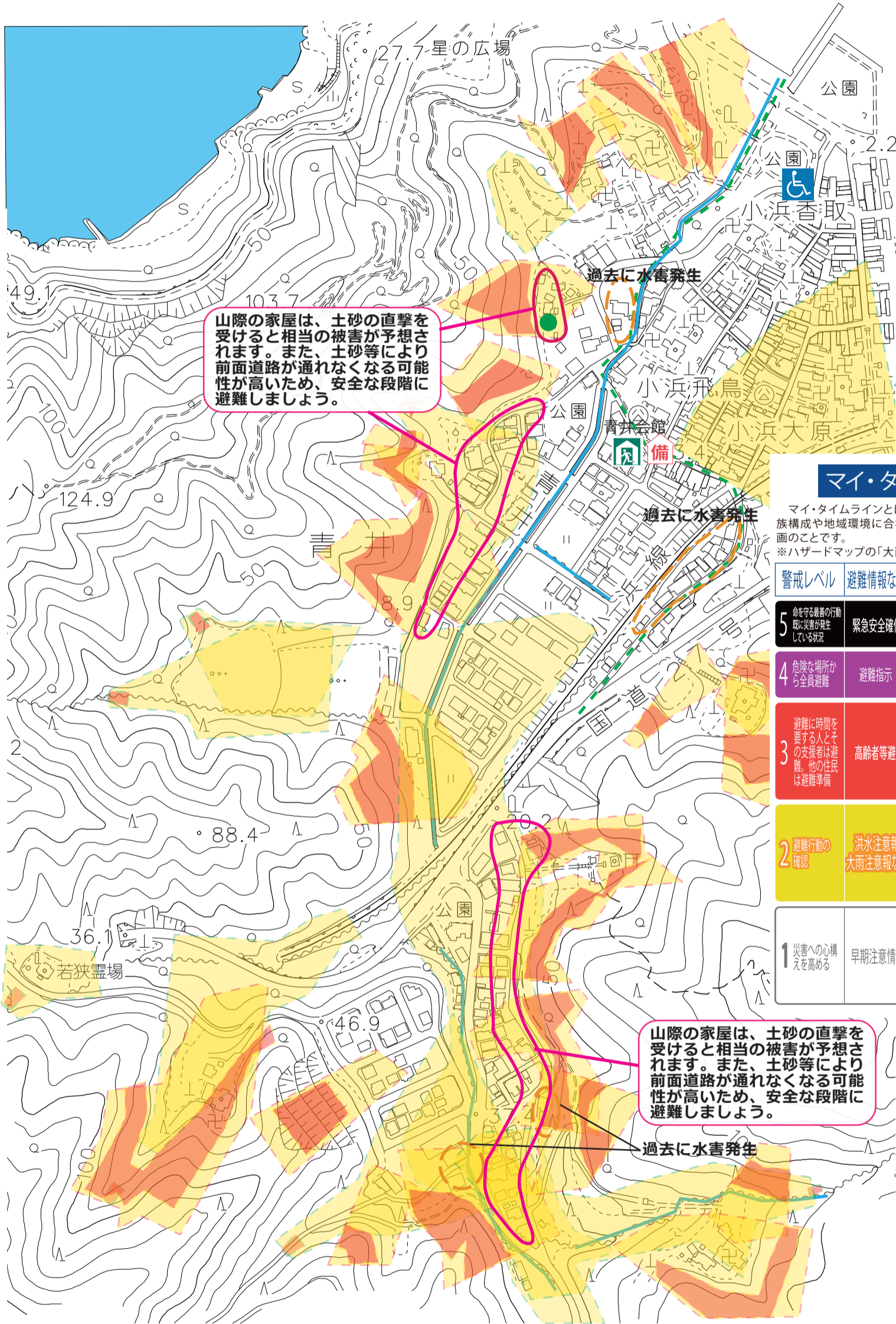


青井区防災マップ

青井区には洪水などの浸水想定はされていないため土砂災害のみの表示となっています。但し、想定を大きく超える降雨の場合には河川の近くなどでの浸水被害は十分に考えられます。その場合は2階以上の場所で身を守ってください。



山際の家屋は、土砂の直撃を受けると相当の被害が予想されます。また、土砂等により前面道路が通れなくなる可能性が高いため、安全な段階に避難しましょう。

山際の家屋は、土砂の直撃を受けると相当の被害が予想されます。また、土砂等により前面道路が通れなくなる可能性が高いため、安全な段階に避難しましょう。

凡例

- 土砂災害の避難情報等の発令時に立退き避難が必要となる家屋
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 過去に被害が発生した場所
-
- 避難所
 - 避難場所
 - 病院
 - A E D
 - 消防団小屋
 - 防災無線
 - 防災(備蓄)倉庫

マイ・タイムラインをつくってみよう

マイ・タイムラインとは、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画のことです。
※ハザードマップの「大雨時にとるべき行動」の情報もあわせて見てみましょう。

警戒レベル	避難情報など	とるべき行動	とるべき行動(例)
5	命を守る最善の行動既に災害が発生している状況	緊急安全確保	命を守る行動を取る。(近くの建物や自宅の2階など、安全な場所に緊急避難)
4	危険な場所から全員避難	避難指示	避難場所への移動を完了する。 ・外に出るとかえって危険な場合は、建物の2階へ避難する。
3	避難に時間が必要な人とその支援者は避難、他の住民は避難準備	高齢者等避難	避難情報が発令されたら、 へ避難する。 ・親戚などに避難先を連絡する。
2	避難行動の確認	洪水注意報 大雨注意報など	川の水位や土砂災害の情報をインターネットで確認。 ・携帯電話の充電。 ・自宅の浸水しそうな箇所に土のうを設置。 ・避難生活に必要なものを準備する。
1	災害への心構えを高める	早期注意情報	天気予報に注意。 ・家の周りに風で飛ばされるものがないか確認。 ・洪水ハザードマップを確認して自宅などの浸水想定を調べる。 計画規模 _____m 想定最大規模 _____m

備蓄品や非常時持出品の準備

- 備蓄品など** 食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例(人数分を用意する)
- 非常食**
- ご飯(アルファ米など)
 - ビスケット、板チョコ、缶詰、レトルト食品
 - 飲料水など
- 日用品**
- トイレトーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど



※最低限で「3日分」、大規模災害発生時には「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意するなどの備えをしておきましょう。

※備蓄した食料品の賞味期限切れなどを避けるためには、回転備蓄(ローリング・ストック)が有効です。備蓄品を古い物から普段の食事を利用して、食べた分を買い足すこの方法を行えば、比較的期限が短い食品でも非常食として活用できます。

青井区の指定避難場所

若狭ふれあいセンター
TEL 53-2010

働く婦人の家
TEL 52-7002

注意

立退き避難が必要な家屋表示 ● がされていない家屋でも、浸水および土砂災害警戒区域内の場合は、安全な段階に左記の指定避難場所へ避難をしてください。深夜や降雨等により避難することが困難・危険な場合は、2階以上の場所で身を守ってください。